

令和2年4月15日

新型コロナウイルス問題についての 緊急要望書

一般社団法人沖縄県芸能関連協議会（沖芸連）
会長 照喜名朝一

新型コロナウイルス感染拡大防止のための公演やイベントの自粛・中止の要請は、関係者にとっても深刻な影響を与えています。

沖芸連は、伝統芸能・音楽、演劇、クラシック音楽、パフォーマンスアート、エイサー、現代音楽、ポピュラー音楽をはじめとする諸ジャンルの芸能家、俳優、音楽家、パフォーマー、オーガナイザー、ライブハウス、スタジオ・道場・スクール・教室、アートマネージャー、テクニカル・メインスタッフ、プランナー、プロデューサーなどの幅広い文化の担い手の支援を目的として活動しています。この度、沖芸連で、緊急アンケートを実施しましたところ、2月から4月中旬までに限っても、回答者273名の個人収入のみでも、1億2560万円の減収が生じています。業界全体の被害額は、これをはるかに上回るはずです。また、回答者の半数が公演中止が今年6月まで続くと生活が維持できなくなると回答しています。

〔要望1〕 緊急の生活支援策のお願い

文化芸能は、沖縄の基幹産業である観光の重要なインフラであり、沖縄の心そのものです。それを支える多くの方々が生活を維持できなくなる事態が目の前に迫っています。沖縄文化芸能の取り返しのつかない損失は、観光資源・インフラの喪失にもつながるものです。しかし、関係者の多くがフリーランスであり、「事業者」向けの支援プログラムの活用が困難だという実態もあります。県におかれましては、これらの支援策の文化産業に従事するフリーランスへの拡充をはじめ、芸能関係者の生活支援への力強いサポートを賜りたく、お願いをいたします。

〔要望2〕 新型コロナウイルス問題終息後の支援計画のお願い

新型コロナウイルス問題は長期的な様相を呈しています。もともと生活基盤が不安定な文化産業の従事者は、将来への不安とたたかいながら活動を続けています。先が見えない不安な状況にある今、将来へのビジョンを示していただくことが、関係者に大きな力となります。沖縄県文化芸術振興条例に基づき、沖縄の文化芸能の将来に向けた支援計画の検討・策定も強く要望いたします。沖芸連では、できる限りの協力をさせて頂きたいと考えています。

<別紙>

新型コロナウイルス問題についての緊急要望書 賛同団体

【賛同団体】

- ・ エーシーオー沖縄
 - ・ 沖縄県芸術文化振興協会
 - ・ 沖縄県舞台運営事業協同組合
 - ・ 沖縄県舞台スタッフ協会
 - ・ 沖縄芸能実演家の会
 - ・ 沖縄現代演劇協会
 - ・ 沖縄伝統音楽安富祖流保存会(県指定)
 - ・ 沖縄伝統音楽箏曲保存会(県指定)
 - ・ 沖縄伝統太鼓協会
 - ・ 一般社団法人伝統組踊保存会(国指定)
 - ・ 八重山古典民謡保存会(県指定)
 - ・ 琉球歌劇保存会(県指定)
 - ・ 琉球古典音楽安富祖流音楽研究朝一会
 - ・ 琉球古典音楽安富祖流絃聲会
 - ・ 琉球古典音楽野村流音楽協会
 - ・ 琉球古典音楽野村流伝統音楽協会
 - ・ 琉球古典音楽野村流保存会
 - ・ 琉球箏曲興陽会
 - ・ 琉球箏曲保存会
 - ・ 琉球舞踊保存会(国指定)
 - ・ 一般社団法人琉球フィルハーモニック
 - ・ 特定非営利活動法人琉球交響楽団
 - ・ 一般社団法人楽友協会おきなわ
 - ・ 創作エイサー協議会
 - ・ 沖縄伝統組踊「子の会」
 - ・ 沖芸大琉球芸能専攻 OB 会
 - ・ 女流組踊研究会めばな
 - ・ 演芸集団 FEC
 - ・ 株式会社 TEAM SPOT JUMBLE
 - ・ PLANNING OFFICE Coda/
沖縄 LOVEweb /音楽関係者、団体、協会
などに所属しないアーティスト
 - ・ 沖縄ライブハウス協会
 - ・ Handmade Music 株式会社
(その他の団体)
- (沖芸連加盟団体)